

平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月15日

株式会社ノノイマックス

証券コート: 4299 東証2部

http://www.himacs.jp/

目次



- 1 平成26年3月期 決算概要
- 2 トピックス
- 3 平成27年3月期 業績予想
- 4 優先課題への取り組み

1 平成26年3月期 決算概要



平成26年3月期 決算概要

損益計算書(連結)



YOUR BEST PARTNER

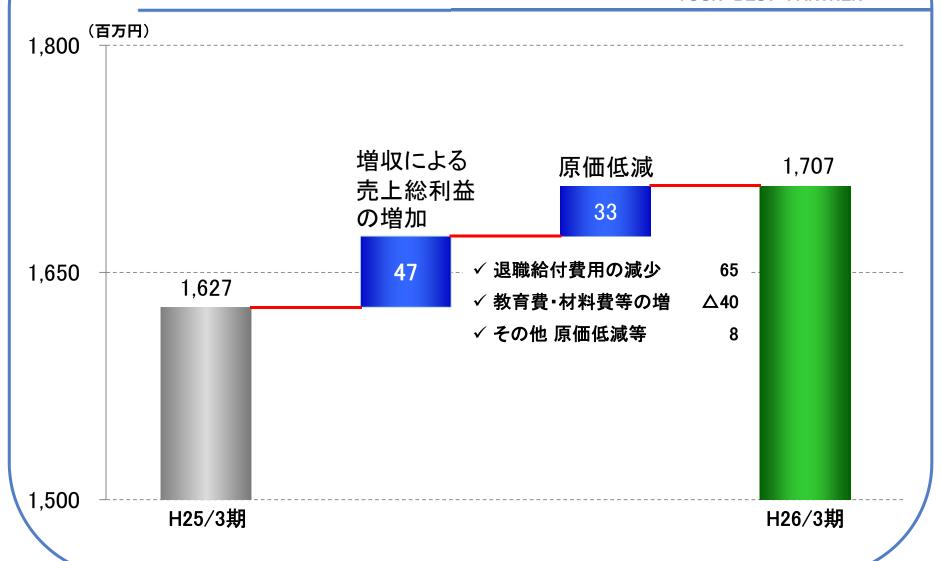
(百万円)

	H25/	/3期	H26/3期		比較増減		期初予想 (H25/5/15発表)	
	(構成比率)	(構成比率)	(額)	(率)	(H25/5/	(達成率)
売上高	9,072	100.0 [%]	9, 328	100.0 [%]	+256	+2.8	9,500	△1.8 [%]
金融向け	6,999	77.2 [%]	6, 864	73.6 [%]	<i>∆135</i>	△ 1.9 [%]	_	_
非金融向け	2,072	22 .8 [%]	2, 464	26.4 [%]	+391	+18.9*	_	_
売上原価	7,444	82.1 [%]	7, 621	81.7 [%]	+176	+2.4 [%]	I	_
売上総利益	1,627	17.9 [%]	1, 707	18.3 [%]	+79	+4.9	1	_
販管費	1,000	11.0 [%]	1, 000	10.7 [%]	+0.6	+0.1 [%]	1	_
営業利益	627	6.9	706	7.6	+ 79	+12.6 [%]	680	+3.9
経常利益	624	6.9 [%]	715	7.7 [%]	+90	+14.4 [%]	680	+5.2 [%]
当期純利益	345	3.8%	410	4.4	+64	+18.6 [%]	399	+2.8

売上総利益分析(連結)



YOUR BEST PARTNER

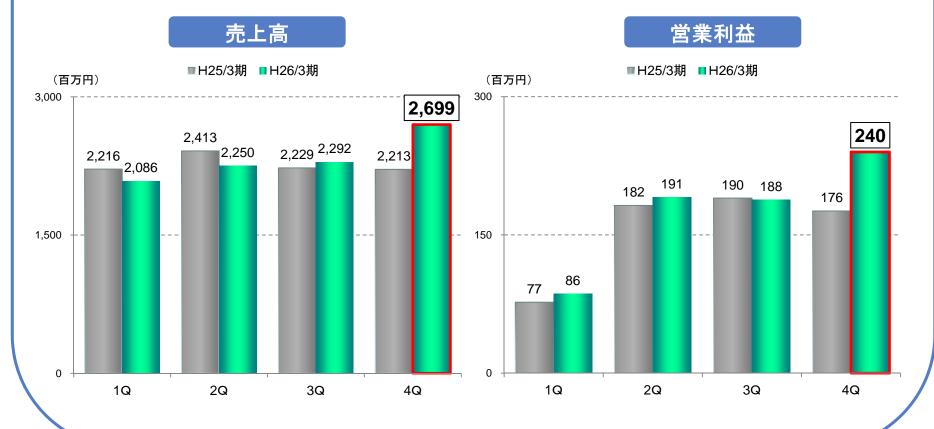


四半期業績推移(連結)



【 H26/3期_第4Qの状況 】

- > 保険業界向け案件の立ち上がり
- > 非金融業界向け案件の拡大



2 トピックス



トピックス

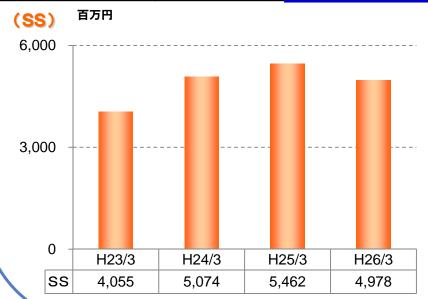
サービス分野別売上高(連結)

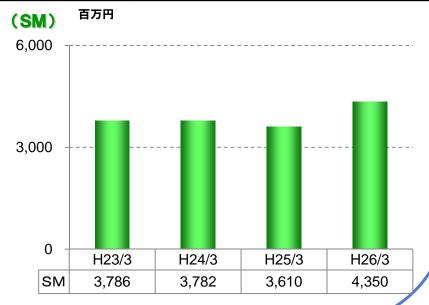


YOUR BEST PARTNER

(百万円)

サービス分野	H25/3期	H26/3期			備考	
	(構成比率)	(構成比率)	(金額)	(率)	WII	
■(SS) システム・	5, 462	4, 978	△483	△8.9 [%]	非金融向け案件が拡大	
ソリューション	(60.2%)	(53.4 [%])	<u> </u>	△0.9	保険向け案件が保守フェーズへ移行	
■(SM) システム・	3, 610	4, 350	+740	+20.5 [%]	保険向け案件の保守フェーズへ移行 及び拡大	
メンテナンス	(39.8 [%])	(46.6 [%])	T /40	₩ 20.5	及び拡入 システム基盤案件の継続受注	
合計	9, 072	9, 328	+256	+2.8	_	



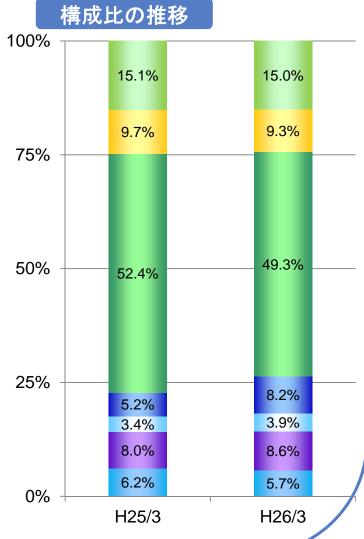


業種別売上高(連結)



YOUR BEST PARTNER

			(百万円)
業種	H25/3期	H26/3期	増減率
■銀行	1,373	1, 395	+1.6*
□証券	875	867	△0.9
■保険	4,750	4, 601	△3.1 [%]
(構成比率)	(77.2 [%])	(73.6 [%])	
金融小計	6,999	6, 864	△1.9 [%]
■公共	473	762	+60.9
■流通	309	364	+17.6
■クレジット	725	800	+10.4
■その他	563	536	△4 .7 [%]
(構成比率)	(22.8%)	(26.4 [%])	
非金融小計	2,072	2, 464	+18.9 [%]
合計	9,072	9, 328	+2.8*



業種別トピックス(金融)



YOUR BEST PARTNER

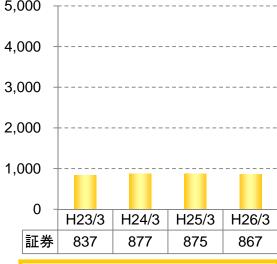
銀行

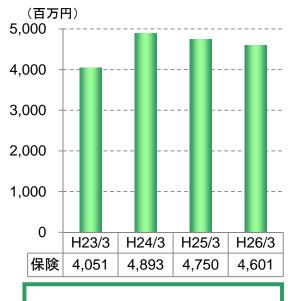
証券

(百万円)

保険







- 新規信託銀行案件の 拡大
- ▶ システム基盤案件等 新規エンド・ユーサーの 都銀案件が拡大
- ▶ 前期比 +1.6%

- ▶ システム基盤案件の 継続受注
- 既存エント・ユーサー案件 の一部収束
- ▶ 前期比 △0.9%

- ▶ 下期より生保向け案件 が立ち上がる
- ▶ 損保向けの大型案件が 端境期
- ▶ 前期比 △3.1%

業種別トピックス(非金融)



YOUR BEST PARTNER

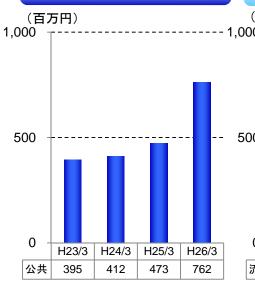
(百万円)



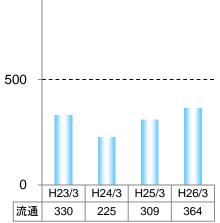
流通

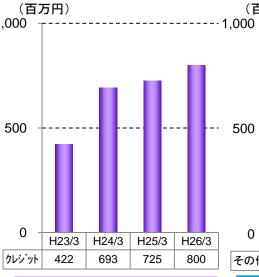
クレジット

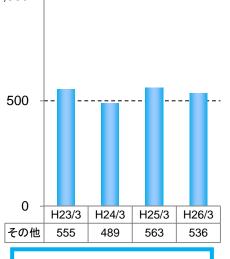
その他











- ➤ 新規Sier経由の 中央官庁及び 政府系金融機関 案件などが拡大
- ▶ 既存エンド・ユーザー との取引堅調
- ▶ 前期比+60.9%
- 新規Sier経由の コンビニ案件が 拡大
- ▶ 前期比 +17.6%
- ▶新規Sier経由の 大手信販会社案件が 拡大
- ▶前期比+10.4%
- ➤大手Sierの 運用管理ツール 案件の収束
- ▶ 前期比△4.7%

顧客別トピックス



Sier

前期比 +5.3%

構成比率 84.7%

金融業界向け : △ 1.7%

◆ 損保向けの大型案件が端境期

非金融業界向け: + 44.2%

- ◆ 重点新規顧客との取引が大幅に拡大
- ◆ 公共、流通、クレジット向けの新規案件が それぞれ拡大

エンド・ユーザー

金融業界向け : △ 4.5%

- 新規顧客の都銀案件が拡大
- 信託銀行及び証券向け案件の収束

非金融業界向け:△12.1%

- ◆ 公共の航空向け案件は継続取引
- ◆ クレジットの一部顧客案件が端境期

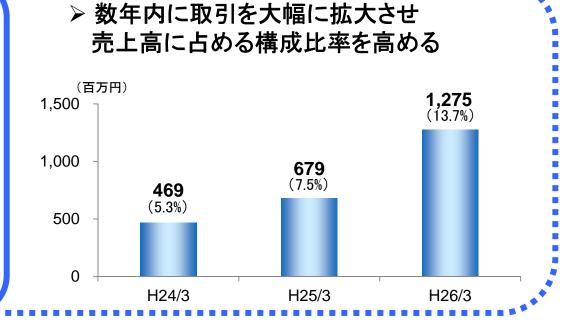
顧客別トピックス



重点戦略顧客

- ▶ 人的資源などのリソースを重点配置
- > 既存案件の受注領域の拡大及び 新規案件への参入

内 重点新規顧客 3社



受注の状況



YOUR BEST PARTNER

受注高

(百万円)

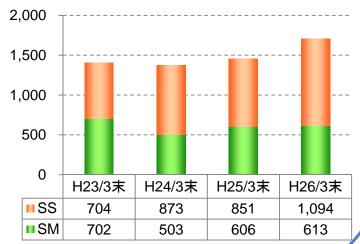
サービス分野	H25/3期 (構成比)	H26/3期 (構成比)	増減率
■(SS) システム・	5,439	5, 221	△4.0 [%]
ソリューション	(59.4 [%])	(54.5 [%])	Δ 4 .0
■(SM) システム・	3,713	4, 357	+17.3 [%]
メンテナンス	(40.6%)	(45.5 [%])	⊤17. 3
合計	9,153	9, 578	$+4.6^{\%}$



受注残高

(百万円)

サービス分野	H25/3期末 (構成比)	H26/3期末 (構成比)	増減率
■(SS) システム・	851	1, 094	+28.6 [%]
ソリューション	(58.4 [%])	(64.1 [%])	1 20.0
■(SM) システム・	606	613	+1.1 [%]
メンテナンス	(41.6 [%])	(35.9 [%])	+1.1
合計	1,457	1, 707	+17.1 [%]



受注高の推移

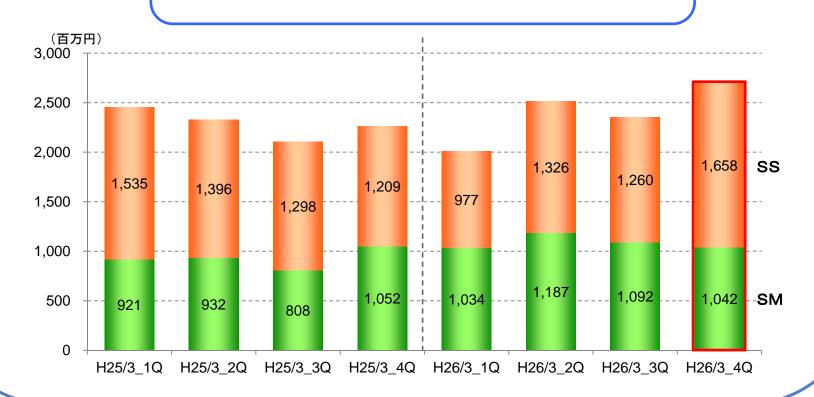


サービス分野別

- ♦ SS
- ♦ SM

開発案件が回復傾向

安定した取引規模を確保



受注残高の状況



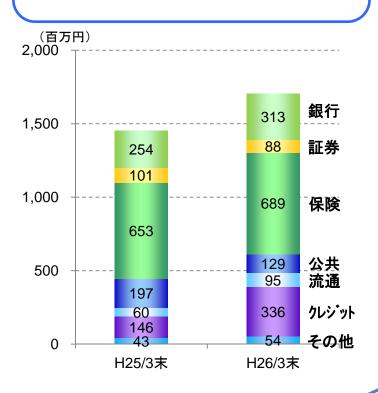
サービス分野別

- ◆ SS の増加 +243百万円
- ◆ SMの増加 + 6百万円

1,500 1,000 1,000 851 1,094 SS 1,094 SS 606 613 SM

業種別

- ▶ 銀行の増加 + 59百万円
- ◆ クレジットの増加 +190百万円



3

平成27年3月期 業績予想



平成27年3月期 業績予想

平成27年3月期業績予想(連結)



YOUR BEST PARTNER

(百万円)

	H26/3期 実績		
売上高	9,328	10, 000	+7.2 [%]
営業利益 (利益率)	706 (7.6 [%])	710 (7.1 [%])	+0.5
経常利益 (利益率)	715 (7.7 [%])	717 (7.2 [%])	+0.3*
当期純利益 (利益率)	410 (4.4 [%])	443 (4.4 [%])	+8.0%
EPS	84円19銭	90円90銭	_
i			

通期25.0円

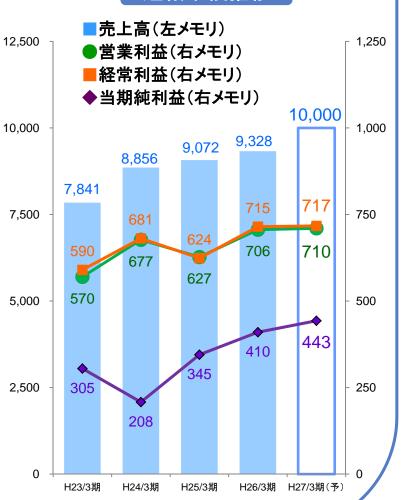
中間12.5円

通期25.0円

中間12.5円

配当

連結業績推移

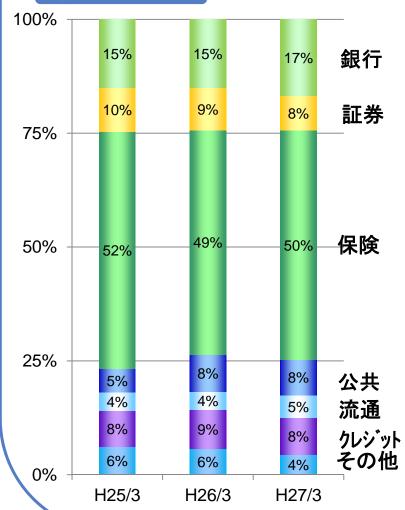


各業種の動向



YOUR BEST PARTNER





金融向け

構成比75%

■銀 行 : 都銀及び信託銀行案件等の

拡大

┗証 券 : 既存案件の一部収束

■保 険 : 生保の新商品対応及び

再構築案件の拡大

非金融向け

構成比25%

■公 共 : 既存案件の継続受注

航空系新規案件への参入

■流 通 : コンビニ向け案件拡大

■クレジット : 既存案件の継続受注

■その他 : 大手Sierの運用管理ツール

案件の収束





優先課題への取り組み



- ▶ 連結売上高100億円越えの早期達成
- ▶ 達成以降も継続した売上高の拡大と 安定的な収益の確保

力強い顧客ポートフォリオ作りによる 受注の拡大

開発力の抜本的強化

企業体質の強化



カ強い顧客ポートフォリオ作りによる 受注の拡大

☆ 太い柱となる顧客を複数作る=『重点戦略顧客』

- ▶ NTTデータ様から 「アソシエイトパートナー(AP)会社」に認定 技術面及び情報セキュリティ面などにおいて 優れた取引先であると認められた証
- → 伊藤忠テクノソリューションズ 流通システム事業グループ様から 「Best Partner賞」受賞

 プロジェクト開発の推進において大きく貢献した



カ強い顧客ポートフォリオ作りによる 受注の拡大

☆ システム基盤領域の拡大

- > 銀行向けの構築案件を拡大
 - ✓ 共通システム基盤
 - ✓ HUBシステム基盤
 - ⇒ インフラ運用コストの低減



開発力の抜本的強化

☆ 技術者の確保

- > 新卒・キャリアの積極的採用
 - ✓ 全社対応プロジェクトとして取り組み体制強化
- > パートナー企業との連携強化
 - ✓ 重点パートナー企業との連携を強化するため 新人教育からリーダー層育成まで 当社教育カリキュラムに受け入れ



企業体質の強化

- ◇ システム・メンテナンスサービスの高度化
- ♦ 新技術及び新分野の研究
- ♦ 人材育成



プロジェクト・マネジメントカの強化

☆ PM・PLの育成・増員

> 実践的な選抜制による育成制度を導入

☆ プロジェクト管理・支援部門の対応強化

- > リスクの早期抽出と早期対応
- ▶「プロジェクトの見える化」への取り組み

更なる品質及び生産性の向上により顧客要求へ対応



システム・メンテナンスサービスの高度化

☆ *『VSC』=「プロジェクトの見える化」

4効果測定 目標の達成度測定

経営層

•認識共有化

③目標設定 当社の優位性を確立する 戦略目標の設定・実行 ①現状認識 自社開発の「分析ツール」を用い お客様の経営環境、 技術・業務の特殊性、 体制構築・収益確保の難易度など を多面的に数値化

②分析 ·評価 ▶ 成果を「VSC報告会」で発表 システム・メンテナンスサービスの 全社的なサービス向上

※VSC(Virtual System-maintenance Company)



新技術・新分野の研究

☆ クラウドを活用するためのビッグデータ、モバイルなどの要素技術の研究及び実践的なナレッジの蓄積を図る

▶ ビッグデータ : ・クレジットの顧客利用分析システムを受託開発

·BI(ビジネス·インテリジェンス)ツールを用いた

経営支援システムを受託

➤ モバイル端末連携 : ・業務効率の向上を目的に、モバイル端末の

導入事例増加

•Windows8の技術研究継続

➤ OSS基盤 : ・オープン・ソースのミドルウェアを活用して

(オープン・ソース・ソリューション) 基盤を構築する頻度が高まる

・実践的なナレッジの蓄積



人材育成

☆ 重点教育を

実践型及び資格取得型の両面で継続実施

【重点教育】

ITコンサル 育成

PM·PL育成

SE戦力強化

JSE早期 戦力化

技術転換教育 Java/.NET

アプリケーション

システム基盤 スペシャリスト育成エンジニア育成 部長研修 PL研修

システム・エンジニア専門教育

階層 別教育

基礎技術教育

資格名称	資格取得者数 (単位:名)※			
具怕石柳	H25/3期	H26/3期	増減	
基本情報技術者	418	425	7	
応用情報技術者	186	192	6	
ITストラテジ、スト	2	2	0	
システムアーキテクト	30	26	△4	
プ [°] ロシ゛ェクトマネーシ゛ャ	14	14	0	
ネットワークスへ [°] シャリスト	8	9	1	
データベーススペシャリスト	25	26	1	
エンヘ゛テ゛ットシステムスヘ゜シャリスト	2	2	0	
情報セキュリティスへ゜シャリスト	12	16	4	
ITサーヒ、スマネーシ゛ャ	2	2	0	
システム監査技術者	1	1	1	
PMP	13	15	2	
その他(ベンダー資格含む)	246	269	23	
合計	959	999	40	

※重複取得含む



優先課題遂行のための アライアンス及びM&Aの推進

- ☆ 力強いポートフォリオ作り
 - > 重点戦略顧客との取引拡大
 - > システム基盤領域の拡大
- ☆ 抜本的な開発力の強化



引き続き変化に迅速に対応するとともに、

積極的な事業運営に努める

カ強い顧客ポートフォリオ作りによる 受注の拡大

開発力の抜本的強化

企業体質の強化



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、 当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する 一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する 趣旨のものではありません。 実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。



平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月15日

株式会社ノノイマックス

証券コート: 4299 東証2部

http://www.himacs.jp/